



第49号 (発行)
和光市青少年育成推進委員会
広報担当

事務局：和光市教育委員会生涯学習課 青少年担当 ☎464-1111

子どもを育てる地域の目

和光市教育委員会
教育長 今城 功



青少年育成推進委員会の皆様には、「青少年をまもる店の推進」「有害図書の追放」「あひるの発行」など、青少年の健全育成に献身的にご努力いただいておりますことに敬意を表しますとともに心より感謝申し上げます。

最近は児童虐待、子どもの自殺、誘拐未遂、殺人など子どもたちを取り巻く環境は悪化の一途をたどっており、憂慮される事態となっております。子どもは、家庭はもちろんのこと地域で育てることの重要性が叫ばれ、さまざまな形でその努力がなされているところがあります。

私が、かつて担任した子どもで、当時は4年生の子でしたが、友だち数人で出かけた先で知らないおじさんに写真を撮ってもらい、「後で送ってあげるから住所教えて」といわれたので正直に教えてあげたということです。母親がその話を聞き、大変驚いて心配のあまりに私のところへ突然やってきました。私はその事情を聞いたのですが、「今日はどうしようもないので、様子を見てみましょう」ということで、その日は終わりました。

子どもたちは、母親に、「とても良い人で悪いことをする人じゃない」と真剣に訴えたそうです。心のきれいな純粋な子どもたちに内心は安堵の気持ちはあったのですが、不安な気持ちは拭いきれませんでした。しかし、この心はいつまでも持ち続けてほしいと思いました。

後で、経過を聞きましたところ、親切にもその方から写真が送られてきたそうです。人を信ずることは大切なことですが、現在では、それが通用しないことは誠に残念であります。

今は注意をしようとしても知らない子に声をかけることは難しく、不審者扱いにされる心配もあり、つい見過ごしてしまうことがあると思います。現在は、地域での連携が薄くなりがちですが、日ごろから子どもたちとあいさつを交わすなど、顔見知りとなり、良くない行いには注意を与え、良い行いには積極的に褒めてあげることが、地域で子どもを見守り育てることになるのではないのでしょうか。地域の輪が一層広がり、子どもたちにさらに目が届くことを願っております。





「家庭の日」シンボルマーク

子どもの よりよい環境

朝霞警察署との 情報交換会

10月13日、朝霞警察署少年係長の高橋氏・和光市駅前交番の石川氏をお招きし、『和光市及び近隣の青少年の状況について』お話を伺いました。

- 少年犯罪は凶悪化の傾向にあり、引takuri・自販機荒らし・バイクの盗難・おやじ狩りなどが増えている。
- 普通の中学生在が、深夜徘徊・万引き・喫煙など多くなっている。
- 薬物については、錠剤になっている物、栄養ドリンクの空き瓶に混入されてるなど手軽になっている。
- 一方、少年が被害者になることが多く、塾の帰りなどに因縁をつけられてお金を盗られたりしている。

これらをまとめると、青少年の犯罪は低年齢化しており、ちょっとしたことで、心が不安定になり犯罪を起こしてしまうようです。

親、地域の大人たちが無関心であってはいけないこと、忙しい中でも目配り・気配りを怠らないことなど。日々責任を持って、親と地域が子どもを育てていかなければと痛感しました。

和光市図書館との 情報交換会

私たちの活動の一つである図書館との情報交換会を1月12日の定例会時に行いました。

伊澤副館長さんは、教育現場にもおられたという経験から、子どものことにも深い思いを示しています。「最近の子どもは遊ばなくなった」と憂い、また、「忙しいのか、外で遊ぶ時間が2時間あるかないか」も安じていました。そして、子どもは遊びを通してその中から学ぶことが多いことも伺いました。

次に、子ども達にとって必要・大事なことは「歩行者」をもじって、**ほ（本を読むこと）—こ（心を通わせること）—う（うしろをみること）—しゃ（社会と交流すること）**と。

さらに、子どもたちに必要なこれからの基礎学力をつけるものの一つが、本（文字に接すること）であることから、「子どもたちには、好きな本をたくさん読ませたい！」と力を込めてお話しいただきました。

コラム 守る店協力店を訪問した時に伺いました

和光高校野球部の皆さんが、学校の近くにあるコンビニの駐車場を自主的に清掃しており、活動を始めてからすでに3年ほど、お店の方も「とっても助かっています！」と喜んでいました。

しかし、「はいづミ！」とわざと置いていく大人もいるそうです。この姿は、高校生達にどう映るのでしょうか。さわやかな話の後だけに、がっかりしてしまいました。

- 朝霞警察署警察官との情報交換会
- 11月定例会
- 視察研修会（丸木美術館）
- 12月定例会
- 青少年健全育成事業作文発表会手伝い
- 心の教育朝のあいさつ運動に参加
- 新春風揚げ大会と前日豚汁作り手伝い
- 1月定例会
- 和光市図書館との情報交換会
- 2月定例会
- 朝霞地区4市+富士見市情報交換会
- 市民大会「君のライブ」手伝い
- 地区別座談会参加
- 3月1日「あひる」49号発行
- 3月定例会図書マップの原稿作りと印刷



づくりのために



朝霞地区四市と富士見市による 青少年育成推進員情報交換会

2月9日（水）、和光市役所 6 階
を会場に会議が行われました。

青少年を取り巻く環境について

志木市 繁華街、地域で子どもたちが集まりやすい
場所をパトロールする。その時に、外灯がどうなっ
ているか、公園など危険な所はないかなども確認する。

新座市 居酒屋風レストランに遅くまでいる若い母
親を見かけるが、子どもへの影響が危惧されることな
どを、市民祭りのときに啓発活動している。

朝霞市 有害図書の自販機が昨年 6 台あったが、業
者に要望し 4 台に減った。子どもたちに悪影響を及ぼ
すような図書が手に渡らないようしたい。「青少年を
守り、育成する家」を学校から薦選してもらい、子
ども達が安心していける環境作りをしている。

富士見市 夏祭り・年末の時期にパトロールを実施
し、子どもがどこで遊んでいるか、危険な所はないか
など啓発活動を行っている。

和光市 「青少年をまもる店」の活動を通して、地
域の大人が子どもたちを見守っていける環境をこれか
らも続けていきたい。

和光市青少年育成推進員会は、当番市と
して情報交換会のために 2 つテーマを用意
し、分科会形式で各市の取り組み・活動に
ついて話し合いました。



青少年の居場所について

新座市 商店街の一角に、テーブルお茶があって気
軽に自由に出入りができる「ふれあいの場」があり、
地域のおばさんがいて、子どもたちも利用している。
パトロールの時間にもよるが、あまり子どもたちを見
かけない。

志木市 小・中学生を対象に、帰宅後の様子などを
調べた後に、公園周辺やコンビニなどをパトロールし
ている。また学校で「朝食は家族で食べましょう」と
指導している。

富士見市 今年度はパトロールを重点としてきた
が、あまり子どもたちを見かけなかった。どこに行っ
てるのか、居るのか、気になるところでもある。また、
卒業した母校への出入りも難しい。

和光市 学校が地域に公開といっても手続きがあ
り、気軽に遊べなくなっている。必要以上に受
け皿を用意するのはどうか。子どもたちの一番の居場
所が家庭であって欲しいが。

各市推進員さんの活発な活動が伺えて、私たちが今後活動していく上での参考になりました。

平成16年度活動報告

● 5月委嘱式・定例会

● 6月定例会

● 6月～7月初旬「青
少年をまもる店」市
内全域訪問調査

● 7月定例会

● 少年指導員との情報
交換会

● 7月～8月夏祭りな
どのパトロール

● 8月「青少年をまも
る店」の報告書作成

● 「あひる」48号編集

● 8月23日夏季スポー
ツ大会、キックペー
ス会場手伝い

● 9月1日「あひる」
発行

● 心の教育朝のあいさ
つ運動に参加

● 9月定例会

「青少年をまもる店」
報告書を協力店に届
ける

● 10月定例会



ふれあい あれこれ

小学校の通学路で、登下校時の児童の安全を見守ってくださっている交通安全立哨指導員さんから、原稿をいただきました。

第2回



ストレス発散の一里塚

第五小学校
小林 意亮

下校時の子どもたちとの触れ合い…それは、友だちとのあつれきを中心とした苦情・相談から、時には恋愛相談までだ。とりわけ屈託のない多くの1・2年生に比べて、高学年児童のストレス症候群の予兆は気になるところ。

定年退職後の潤いに‘子どもたちとの触れ合いの場’を求めた私と同様、彼らもまた‘ぬくもり’を渴望しているに違いない。子どもたちの不幸な事件を見聞するにつけ、微力ながらも願う日々だが、車の往来しきりの中でのアドバイスはいつも不首尾に終わる。彼らとの交流が深まるにつれ、皮肉にも私のストレスもまた、募る一方である。



子どもの宝物

広沢小学校
伊藤 良子

今年の4月に来ましたが、児童数が多いのにびっくり！前任校の3倍ほどです。最初は子どもたちも私も余裕がなかったからか「おはようございます」と「さようなら」だけでした。2か月ほど経った頃、初めて5年生ぐらいの男子が「おばさん！バームクーヘン欲しい？」と聞いてきました。「おばさんは仕事中だからいいよ」と言ったら「あげるよ」と。思わず手を出したらトカゲでした。びっくりしている私に「このトカゲの名前がバームクーヘンって言うんだよ」と笑っていました。「これ！ぼくの宝物」といってるような顔をしていました。

今は子どもたちも慣れて、花や葉っぱのプレゼントをしてくれたり信号を待っている間、話しかけてくるようになりました。

小さな友だち

北原小学校
大野 静江

登校するときは、班長さんを中心に一列になってきます。「おはよう」「おはようございます」と言う元気な声が返ってくる子、返ってこない子、ニコニコ笑って照れる子など様々です。

私の方からも「今日は人数が少ないけど休みなの？」「まだ、眠いんじゃないの？顔洗ってきたの？」、たまに咳が聞こえてくると「風邪ひいちゃったの？」などと声をかけます。

下校の時は、「夏は、ずっと立っていて暑くないの？」また「冬になると寒くないの？」とよく声をかけてくれます。私の体のことを気遣ってくれる、そんな可愛い子どもたちを交通事故から守りたいと、毎日立哨指導を続け励んでいます。

あいさつで始まる一日

本町小学校
平井 和江

毎朝、「おはよう」と言葉をかけて、左右をよく見て確認「行ってきました」と元気な声が返ってきます。日に日にあいさつ児童が多くなり今はとてもうれしく思います。

毎日、あいさつを続けていくうちに、きちんと目を見てあいさつを返してくれる児童が増えてきました。「おはようございまーす」「行ってきました」の元気な声が、今は、とてもうれしく心に響いています。あいさつで始まる一日はとてもすばらしいものです。

交通事故が発生しないように、日々努めていきたいと思っています。



「あひる」に関するご意見・感想などをお寄せください

生涯学習課青少年担当

